国立大学法人 兵庫教育大学大学院
学校教育研究科教育実践高度化専攻

教育政策リーダーコース

教育行政にイノベーションを起こす人材を

地方教育行政のトップリーダーを育成する全国で唯一のコース

教育政策リーダーコース　コース長　堀内 昭彦

教育変革期における地方教育行政のリーダーの役割はますます重要なものとなっています。国や自治体の動向、社会の変容、市民の意向など、教育に関する情報を収集・整理し、自らの教育観を通して目標を立て、その実現に向けて行動する存在となることが求められています。

このような中、本学に設置された「教育政策リーダーコース」は、日本で初めてとなる、現職の教育長や将来の教育長候補および教育行政の幹部養成コースであり、修了生の多くが地方教育行政のリーダーとして活躍しています。

教育政策リーダーコースでは、教育行政を専門とする専任教員や豊富な客員教員と、応用力・知識・実践のプログラムを用意し、多忙を極める学生のために、学修形態を、教員が地元に出向いて行う講義と、双方向のオンライン授業や VOD（ビデオ・オン・デマンド）による視聴学習、神戸キャンパスにおける集中演習とし、学生が学びやすいものとしています。

国、都道府県、市町村の権限は何から来ているのか、
根拠をもっておかなければならない。
前例をそのまま受け付けるのではなく、
なぜそうなっているのかを考えることが大事。
正統性をもって堂々と取り組まなければならない。

（教育政策リーダーコース　元教授　日渡 円（初代コース長）　講義での発言より）

教育長に着任してからも、自身の知識・経験のアップデートを図り、資質・能力を伸ばそうとする姿勢が極めて重要である。

（文部科学省「令和の日本型学校教育」を推進する地方教育行政の充実に向けた調査研究協力者会議（令和5年7月19日））

特徴

地元で学べる新しい授業スタイル　最新の高度な専門的知識・実践力が身に付くカリキュラム

地元等への
大学教員の出張講義

神戸キャンパスでの
集中演習や自治体フィールドワーク

各地域での教育行政
トップリーダーセミナーへの参加

"Web会議形式"を併用した教育政策
課題研究における発表・研究指導

海外教育行政機関での実習

※神戸での授業以外は学生の地元等で授業を実施（授業は土日等の休日）

経験豊富で専門性の高い教員による講義

教授　堀内昭彦	客員教授　青木栄一	客員教授　天笠茂	客員教授　新井肇	客員教授　今中博章
准教授　押田貴久	客員教授　遠藤洋路	客員教授　小川正人	客員教授　貝ノ瀬滋	客員教授　合田哲雄
准教授　菅野祐太	客員教授　澤野幸司	客員教授　露口健司	客員教授　藤川聡	客員教授　細田眞由美
	客員教授　マルック・アンティンルオマ	客員教授　水本徳明		
	客員准教授　阿内春生	客員准教授　葛西耕介	客員准教授　匝瑳岳美	客員准教授　矢田匠

共通基礎科目

	授業科目名	単位数
共通基礎科目	カリキュラム・マネジメント	2
	多様な授業方式・形態とその支援体制	2
	生徒指導の学校体制と教育委員会の危機管理	2
	特別支援教育の実際と改善課題	2
	地域教育経営と教育委員会の学校経営改善施策	2
	現代教育の理念と背景	2
	地域と学校	2

実習科目

	授業科目名	単位数
実習科目	教育政策トップリーダーインターンシップⅠ（海外教育行政機関）	2
	教育政策トップリーダーインターンシップⅡ（自自治体行政機関）	2
	教育政策トップリーダーインターンシップⅢ（自自治体教育機関）	2
	教育政策トップリーダーインターンシップⅣ（他自治体）	4
	教育政策トップリーダーインターンシップⅤ（自治体等発展）	2

専門科目

	授業科目名	単位数
専門科目	教育行政マネジメント特論演習Ⅰ（情報収集・分析・構想）	2
	教育行政マネジメント特論演習Ⅱ（企画・実行・判断）	2
	教育行政リーダーシップ特論演習Ⅰ（組織人事）	2
	教育行政リーダーシップ特論演習Ⅱ（理念浸透）	2
	教育政策実践論	2
	教育行財政の立案と分析	2
	地方自治体行政論	2
	教育法規の理論と実践	2
	教育政策・教育行政特論	2
	生涯学習特論	2
	学校論	2
	比較教育政策論	2
	教育政策課題研究	8

▶修了要件（履修方法）
共通基礎科目：12単位　専門科目：24単位　実習科目：10単位
（実習科目は職務経験等により、免除となる場合もあります。）

2年間の学びの流れ（例）

		前期	後期
1年次	共通基礎科目	「カリキュラム・マネジメント」「地域と学校」「特別支援教育の実際と改善課題」「多様な授業方式・形態とその支援体制」	「生徒指導の学校体制と教育委員会の危機管理」「地域教育経営と教育委員会の学校経営改善施策」
1年次	専門科目	「教育行政リーダーシップ特論演習Ⅰ」「教育政策実践論」「教育法規の理論と実践」「学校論」	「教育行政リーダーシップ特論演習Ⅱ」「教育行財政の立案と分析」
1年次	専門科目	「教育政策課題研究」	
1年次	実習科目	「教育政策トップリーダーインターンシップⅠ」フィンランド共和国	
2年次	専門科目	「教育行政マネジメント特論演習Ⅰ」	「教育行政マネジメント特論演習Ⅱ」
2年次	専門科目	「教育政策課題研究」	

▶修了生の声 ―コース修了後の歩み―

今、教育長として

杉本 真紀子さん 教育政策リーダーコース第４期生　東京都稲城市教育委員会 教育長

教育政策リーダーコース生として経験した深い学びと、志を同じくする仲間達との出会いは、私にとってかけがえのない財産です。多様なカリキュラムの履修に際し、著名な先生方からの鋭くも示唆に富むご指導と、仲間たちとの協議を通し、自らの実践を振り返りつつ展望を整理していく作業は、貴重な学びの時間でした。また全国各地で活躍する同期生たちとは、出張講義や集中演習等の際に親交を深め、修了後の現在も交流し、学び合っています。

修了後、教育長を務めることとなりました。教育のあるべき姿について考察したり視野を広げたりした学びの日々を思い出しながら、日々の職務に取り組んでいます。このコースに学んだからこその見方考え方をフル活用し、教育施策を推進していきたいと思います。

▶学生の声 ―学び続けることへの挑戦―

教育政策という大河へ

山元 昇さん

教育政策リーダーコース第７期生
兵庫県川西市こども未来部 部長

政策は河の流れに似ています。教育政策リーダーコースは、教育政策という大河を対象に、1年次においては、時には俯瞰的に全体像を確認し、また、時には法令など、大河の構成要素を詳細に分析します。これにより、教育の本質についての理解を深めることができます。

2年次からは、自らの教育政策課題と向き合い、課題の解決に向けた提言を取りまとめることで、大河に一石を投じることとなります。研究では、同期生と励まし合いながら、ゼミ形式で多方面の先生方の助言を羅針盤に進めていきます。

私は行政事務職ですので、教職の経験はありませんが、教育行政に関わる上で、大いに刺激を受け、助けになりました。困難な流れの中でも、ここでの学びがとても役立っています。

新たな学びへのチャレンジ

久保 ひろみさん

教育政策リーダーコース第８期生
福岡県築上町教育委員会 教育長

コロナ禍を経て、少子高齢化や生成AIの飛躍的な進展など、教育を取り巻く社会の急激な変化を実感しています。すべての子どもの可能性を引き出す新しい時代の教育を実現するためには、知識や経験のアップデートが必要であると考え、本コースに入学しました。第一線でご活躍の先生方による出張講義や集中演習では、最新の専門知識や理論を学ぶことができ大変充実しています。また、教育行政マネジメント特論演習では、自分自身の思考傾向を知るとともに、参加者の多様な考えに刺激を受けています。日々の業務やレポート作成に追われながらも、学ぶことの大切さ、学ぶ喜びを感じているところです。同じ志をもつ院生たちと互いに学び合い、学修を深めていきたいと思っています。

神戸キャンパス

〒650-0044
神戸市中央区東川崎町1-5-7
神戸情報文化ビル3階
TEL.078-361-5023

▶アクセス

［電　車］
- ■ JR大阪駅→JR神戸駅　約23分（新快速）
- ■ JR姫路駅→JR神戸駅　約35分（新快速）
- ■ 新神戸駅→市営地下鉄三宮駅→徒歩 →JR三ノ宮駅→JR神戸駅→徒歩 約8分
- ■ 市営地下鉄ハーバーランド駅→徒歩 約8分
- ■ 阪急・阪神高速神戸駅→徒歩 約13分

※2024年10月以降は、神戸新キャンパス（新長田駅付近）に移転予定

Q&A

Q1　教育長でなくても入学は可能でしょうか。

A1
本コースは教育長及び教育行政幹部職員の養成コースですので教育長でなくても入学は可能です。志願要件は、「現に地方教育行政の職に就いている者、または教育機関、官公庁、民間企業等で10年以上勤務し地方教育行政の職に就くことを希望する者」としています。コースには、教育長のほか、教育行政職員、校長・教頭、学校事務職員など様々な職の方々が在籍しています。

Q2　授業はどのように受講するのですか。

A2
学生の要望等を踏まえた時期・場所で受けることができる「フレックス＆プレイスカリキュラム制度」を導入しており、教員が学生のもとに赴き行う「出張講義」、教員の授業を収録したDVDやそのネット配信でフレックスに学ぶことができる「VOD方式講義」、「Web会議システムによる研究指導」、学生が一堂に会する神戸キャンパスでの「集中演習」や「フィールドワーク」の組み合わせを基本として受講していただきます。
また、これらとは別に、専門科目『教育政策導入領域』４科目の授業内容の一部にもなっている全国各地で開催する「教育行政トップリーダーセミナー」に参加いただくことになります。

Q3　直接出向いて参加しなければならない授業にはどのようなものがありますか。

A3
授業はハイフレックス型（オンラインと通学による対面授業を選択できる）により実施しますが、演習や実習等では神戸（神戸キャンパス）や各地において対面により実施することもあります。「教育行政トップリーダーセミナー」では、一般の参加者とともに開催地で受講いただきます。その他、選択する科目によっては現地の教育機関等を訪問し調査等を行う「フィールドワーク」を実施する場合があります。

Q4　地元での受講方法は。

A4
神戸での授業以外は、コース教員が学生の地元に赴き授業を行う「出張講義」と「VOD方式講義」、「Web会議システムによる研究指導」となり、地元で授業を受けていただくことになります。出張講義日程は教員と学生間で調整します。原則、授業は土日等の休日に実施します。なお、近隣に他の学生がいればその学生との合同授業となる場合があります。
また、「VOD方式講義」は、自宅等で都合のよい時間に受講いただきます。

Q5　入学料と授業料は。

A5
入学料は28万2,000円、授業料は1年間で53万5,800円になります。
※在学中に授業料の額が改定された場合は、その時点から新たな授業料が適用されます。

問い合わせ先
兵庫教育大学大学院 入学相談室
〒673-1494　兵庫県加東市下久米 942-1
TEL：0795-44-2359　FAX：0795-44-2011
E-mail：guidance-info@ml.hyogo-u.ac.jp

兵庫教育大学 検索

国立大学法人 兵庫教育大学